

Myアイテム

～仕事と私

⑧ 双眼鏡

船員を経て造船所で働いていた父はよく、星の位置から現在地を割り出す航海法などを教えてくれ、その影響で船乗りになることがして操船を助け、安全かつ



船が回避するべき漁船や漁具を目視で見つける上で役に立つ双眼鏡。各船には備え付けられているが、仕事には愛用の品が欠かせない―神戸市中央区波止場町

ひょうご経済

■経済部

効率良く目的の港まで導きます。

高校卒業とともに地元・山口県を離れて神戸大海事科学部へ進学。在学中に水先人の免許制度が変わり、船長の経験がなくても水先人になる道が開かれ、免許取得に挑みました。養成施設を経て、内海水先区水先人会に入りました。

瀬戸内海は地形が複雑な上、さまざまな船が行き交う交通の難所。例えば淡路島の西では多くの漁船や、灯浮標（ブイ）でマークされていない浅瀬を、潮流を計算に入れないと航行が危険な場合があります。レーダーに映らない漁船や漁具を目視で見つけるときに役立つのが双眼鏡です。夜の暗闇でも見えやすい性能を備

安全な操船助ける「目」

内海水先区水先人会 1901(明治34)年9月、内海水先区水先人組合として創立。全国に35ある水先人会のうち、所属する水先人の人数は143人と2番目に多い。東は神戸、西は関門海峡、南は豊後水道にわたる対象海域の広さは断トツの首位を誇り、潮流の向きに応じて通行地点が変わる航行の難所・来島海峡などを擁する。

え、持ち歩きやすく、構えたときに安定感がある重さにこだわっています。

船員や積み荷の安全を担う重圧は相当なものですが、常に首から下げているこの「相棒」と一緒に任務を成し遂げたいと思います。(長尾亮太)



内海水先区水先人会 水先人

川島 慧子さん(32)

TEL : 078-3662-7094
FAX : 078-3660-5511
e-mail : keizai@kobe-np.co.jp